# 32nd IMAGE FORUM FESTIVAL

EXPERIMENTAL FILM / VIDEO
映像アートの祭典 イメージフォーラム・フェスティバル2018

**京都芸術センター**
**8.21**(TUE) — **24**(FRI)

**ルーメン・ギャラリー**
**8.25**(SAT) — **26**(SUN)

**横浜美術館**
**9.15**(SAT) — **17**(MON/HOLIDAY)

**愛知芸術文化センター**
**アートスペースA, EF**
**9.26**(WED) — **30**(SUN)

テーマ：
## ヴォイセズ

主催：イメージフォーラム
共催：京都芸術センター(Co-program 2018カテゴリー D「KACセレクション」採択企画 )
横浜美術館、愛知県美術館
助成：芸術文化振興基金助成事業
協賛：株式会社ダゲレオ出版
協力：オーストリア大使館／オーストリア文化フォーラム
渋谷東急REIホテル
ルーメン・ギャラリー
後援：ベルギー王国大使館
カナダ大使館

www.imageforumfestival.com

イラストレーション:近田春夫

32nd IMAGE FORUM FESTIVAL East Asian Experimental Competition

# 東アジア・エクスペリメンタル・コンペティション

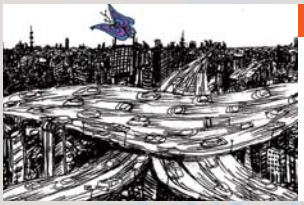
近年映像芸術分野で世界的に注目される中国、韓国、台湾からの応募も加わり、本年度から新しくなった公募部門「東アジア・エクスペリメンタル・コンペティション」には、計451作品の応募があった。厳正なる第1次、第2次審査の結果、23作品がノミネート選出され、上映される。本フェスティバルの東京開催期間中に行われる最終審査によって、8月12日の授賞式で入賞5作品と観客賞を発表。観客賞は各会場で実施。熱い一票を!

## A 東アジア・エクスペリメンタル・コンペティション1
8作品97分

京都2 8/25 13:30
横浜 9/16 11:30
名古屋 9/29 11:30

### 風にのるはなし
**吉開菜央**／デジタル／9分／2018 **(日本)**
自転車少女の妄想がスパークする! 米津玄師のMV『Lemon』で強烈な印象を残すダンサーでもある吉開菜央は、『ほったまるびより』(2015)で文化庁メディア芸術祭エンターテイメント部門新人賞を受賞、ICC「オープン・スペース2018」での最新作『Grand Bouquet／いま いちばん美しいあなたたちへ』が話題を呼んだ映像作家。

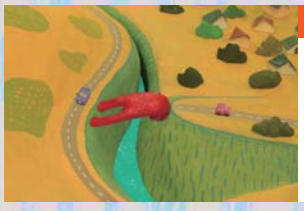
### 無念／Morning
**ゾン・ヨッヘイ**／デジタル／26分／2017 **(香港)**
黄昏時の教室での少女達の会話、奇妙な人物配置の食堂、積み重ねられる夢か現実か定かでない断章。アピチャッポン・ウィーラセタクンやカルロス・レイガダスの映画を想起させるマジック・リアリズム的映像美の世界。『アンダルシアの犬』へのオマージュ、『ダークナイト』などへの言及の先に、香港に内在する政治性が浮かび上がる。



### 東京逍遥
**古川タク**／デジタル／5分／2018 **(日本)**
インディペンデント・アニメーションの第一人者、古川タクの最新作。舞台は空の上。東京行の機内でまどろむ男。夢の中で男は蝶になり、東京を上空から観光する。作者独特の線画と展開で目まぐるしく変貌する都市の儚さを滲ませつつ、軽やかなタッチとユーモアが旅への期待を増幅させる。

### #cloud
**ペク・ジョングワン**／デジタル／13分／2018 **(韓国)**
ホワイト・キューブを数点の固定カメラが交差して捉える。数人が壁際に並び、部屋を横断し、階段を登って去っていく。その謎に満ちた所作。画面には電子的ノイズが明滅して並び、時折、人物も歪む。現代の映画眼(キノグラス)がもたらすのは夥しい映像データの中に潜む予期せぬノイズなのだ。今年のチョンジュ国際映画祭でプレミア上映された挑戦的なエクスペリメンタル映画。

### かえりみち
**木山瑞嬉**／デジタル／3分／2018 **(日本)**
父親がおんぶしてくれた帰り道、少女は背中でお相撲さんの夢を見る——。記憶の深部に迷い込んだかような奇想天外な光景がリズミカルに立ち現れるアニメーション。身体的な感覚をも掬い取る独特なドローイングが極めて個性的だ。本年のオーバーハウゼン国際短編映画祭コンペ部門ノミネート作品。



### あかばしは落ちた
**森永大貴**／デジタル／8分／2018 **(日本)**
深い谷にかかる赤い橋=あかばしが、頭のない人型キャラクターとなって語りだす。あかばしとは、作者の地元、熊本の阿蘇大橋のこと。2016年に起こった大地震で崩落した。立体造形とドローイングをミックスしたアニメーションであり、故郷のランドマークを喪失した作者のパーソナルな心情を伝えるドキュメンタリーでもある。

### Compliance Level 0
**韓成南**／デジタル／23分／2018 **(日本)**
ある女性派遣社員の本名が本人の意に反して社内に知られ、大企業の人事部が当人に謝罪するが、その機械的な対応がさらなる怒りを招く。大企業に毅然と立ち向かうひとりの在日コリアン女性の抗議から、人事部、そしてまたこの映画の観客も逃れられない。AR作品やパフォーマンス上演も手がける気鋭のアーティストによる知的に設計されたワンシーン・ドラマ。

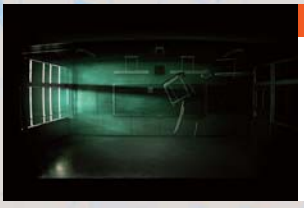
### 山川景子は振り向かない
**黒坂圭太**／デジタル／10分／2017 **(日本)**
流麗な線と独特なナラティヴ性で知られる、日本を代表する実験アニメーション作家、黒坂圭太。山や川の景色は自らの意思で絶え間なく永遠に変化し続け、決して後戻りしないというテーマを追求した作品である。『陽気な風景たち』(2015)から続く、数千枚の鉛筆画による実験的な抽象アニメーション。

## B 東アジア・エクスペリメンタル・コンペティション2
8作品97分

京都2 8/25 16:15
横浜 9/16 14:00
名古屋 9/29 14:00

### Highview
**サイモン・リュー**／35ミリ／19分／2017 **(香港、アメリカ、イギリス)**
作者のルーツである香港とイギリスのストーク=オン=トレントで撮影されたフィルムが、自家現像による鮮やかな色彩を得て爆発的なイメージの奔流を生成する。サイモン・リューは、本年まで3年連続でロッテルダム国際映画祭で作品が上映されるなど、世界から注目される気鋭の映画作家。オリジナルは16ミリ4台映写。IFFでは35ミリ版またはデジタル版で上映。

### 愛讃讃
**池添俊**／8ミリ／8分／2018 **(日本)**
10歳のころ、父が連れて来た新しいオカンは若い中国人だった。初めて作ってくれた地獄の池のような真っ赤な鍋、最初で最後の家族バーベキュー……。8ミリフィルムとデジタルの間で再撮影を繰り返して得られた独特の淡い色彩で描かれる、おぼろげな継母の肖像画。時代に捨てられつつあるメディアが、消え去りつつあった継母の記憶を呼び戻す。



### 何処かへ。
**高橋良太**／デジタル／7分／2018 **(日本)**
真っ暗な無人の教室。時間層を遡るかのようにカメラは下層に潜り、無限に教室が続き、やがて時空が歪み、椅子や机が洪水のように流される——。卓越したCG技術によるミニマルで詩的なアニメーション。冒頭に「これから上映される作品は、スマートフォンでの写真の撮影、SNSでのシェアを許可しております」の字幕があり、その真意はラストで明かされる。

### ケアンの首達
**副島しのぶ**／デジタル／7分／2018 **(日本)**
鳥の首が壁のくぼみに飛び込む——。神秘的な死後の世界を描いた人形アニメーションで、アジアの民間伝承や宗教的モチーフのリサーチに基づいて制作されている。作者初のアニメーション作品ながら、すでに複数の国際アニメーション映画祭等から招待を受ける注目作。

**最終審査員**

**シェリー・シルバー**
（映像作家／アメリカ）
©cassandra guan

**シャイ・ヘレディア**
（映像作家、Experimentaディレクター／インド）

**黒田育世**
（BATIK主宰、振付家・ダンサー／日本）
©池谷友秀

**授賞式** 8/12（スパイラルホール）
受賞作品はWEBサイトでも発表します。

| | |
|---|---|
| 大賞／1点 | 賞金30万円、賞状 |
| 寺山修司賞／1点 | 賞金10万円、賞状 |
| 優秀賞／3点 | 賞金3万円、賞状 |
| 観客賞／1点 | 賞状 |

## 註釈する女

**イン・ウェイミン**／デジタル／15分／2018 **（台湾）**
小劇場前の溜まり場で、なんでもありの摩訶不思議な群像劇が進行する。日本でも話題となった台湾のヒット映画『海角七号 君想う、国境の南』の出演俳優でもあるイン・ウェイミンは、映像や舞台演出、さらにはロックバンドのボーカルもこなすマルチ・アーティスト。その多才ぶりも堪能できる。

## Railment

**林俊作**／デジタル／10分／2017 **（日本）**
電車の中にたった一人で乗っている孤独な男。緻密に描かれた横長の巨大な絵画を再構成し、時間と展開を生み出す気鋭の作家によるドローイング・アニメーション。その独特の技法は様々な映画祭、アニメーション・フェスティバルで高い評価を得ており、アナーバー映画祭アニメーション部門最高賞などを受賞している。

## DREAMLAND

**水江未来**／デジタル／5分／2017 **（日本、フランス）**
今年のアヌシー国際アニメーション・フェスティバルの閉幕セレモニーで上映された、CGと見紛うばかりの手描アニメーション。幾何学図形の増殖と反復で永遠に完成しない「ドリームランド」を描く。一貫してアニメーションにおける抽象表現を追求する水江未来が、成長し続ける都市空間に永遠の想像力を重ね合わせて制作した4年ぶりの新作。

## 土の人（劇場版）

**山城知佳子**／デジタル／26分／2017 **（日本）**
韓国の済州島と、作者の出身地で一貫したモチーフである沖縄で撮影され、それぞれの歴史からインスパイアされたアイデアを元に幻想的で寓話にも見える物語を紡ぎ出している。あいちトリエンナーレ2016で発表された3面マルチの展示版を再構成した本「劇場版」で、本年度オーバーハウゼン国際短編映画祭で女性監督に贈られるゾンタ賞を受賞。

Chikako Yamashiro 'Mud man' 2017 supported by Aichi Trienniale
© Chikako Yamashiro, Courtesy of Yumiko Chiba Associates

# C 東アジア・エクスペリメンタル・コンペティション3
**5作品95分**

京都2 8/25 19:00
横浜 9/16 16:30
名古屋 9/29 16:30

## ヒトコト劇場

**桜井順×古川タク**／デジタル／37分／2018 **（日本）**
アニメーション作家古川タクとCM音楽界の巨匠で作詞作曲家の桜井順、合わせて160才!を超える2人のコラボ作品。インターネット同人誌で不定期に発表された、100本以上の「超短編」アニメーションで構成されている。二人の自由な精神が社会風刺、言葉遊び、哲学的考察……。と想像力の翼を広げていく。強烈なブラック・ユーモアもあり。

## debris

**大島慶太郎**／デジタル／11分／2018 **（日本）**
「デブリ（残骸、破片）」というタイトルの通り、傷ついたり褪色したフィルムの断片を素材として使い、縦横無尽に重ね合わせて編集することで、映像の織物を形成している。ブルース・コナーを起点とした実験映画におけるファウンド・フッテージの正統的な後継者である作者による、物語を失ったフィルムの断片で新たな映像詩を語る試み。

## With Friction, As Friction

**山田沙奈恵**／デジタル／15分／2018 **（日本）**
雪深い新潟県十日町松之山。至るところに高く積もった雪を下ろす人々。日常的な雪下ろしの風景を丹念に撮影し、雪が積もるがごとく、映像に記録された人々の活動も堆積していき、やがて個人の活動は風景全体に溶け込んでいく。作者は、インスタレーション、写真、ドローイングなど様々な表現を横断する若手アーティスト。

## AEON

**宮嶋龍太郎**／デジタル／4分／2017 **（日本）**
若手アニメーション作家宮嶋龍太郎による、宇宙で増殖するエネルギー体をイメージしたダイナミックな作品。刻々と視点が変わっていくメタモルフォーゼと、サウンドデザインが異次元に観客をいざなう。ザグレブ国際アニメーション映画祭など、各国のアニメーション映画祭で上映され、高い評価を得ている。

## 瘴気、植物、外銷画

**ワン・ボー、パン・ルー**／デジタル／28分／2017 **（中国、香港）**
アヘン戦争後、アジア特有の亜熱帯気候に苦しむ英国軍が進めたのは香港島での植林だった——。大英帝国の植民地主義が香港の空間と自然構造に与えた影響を紐解く本作は、清朝後期の絵画や『散りゆく花』（G.W.グリフィス/1919）、『慕情』（ヘンリー・キング/1955）などの映画の断片から多彩で緻密に構成された2面マルチ形式のドキュメンタリー。

# D 東アジア・エクスペリメンタル・コンペティション4
**1作品153分**

京都1 8/22 13:30
横浜 9/15 18:00
名古屋 9/26 16:00

## スローモーション、ストップモーション

**栗原みえ**／デジタル／153分／2018 **（日本）**
現在の日本における日記映画の第一人者と言っても過言ではない、栗原みえの新作。タイと日本を往還して暮らす作者がタイ、ラオス、ミャンマーなどで撮りためた、日常や旅の光景がユーモアあふれるナレーションとともに物語を紡いでいく。小型カメラで自由闊達に撮影されたユニークな視点によるセルフドキュメンタリー。

# E 東アジア・エクスペリメンタル・コンペティション5
**1作品156分**

京都1 8/23 13:30
横浜 9/15 14:00
名古屋 9/26 13:00

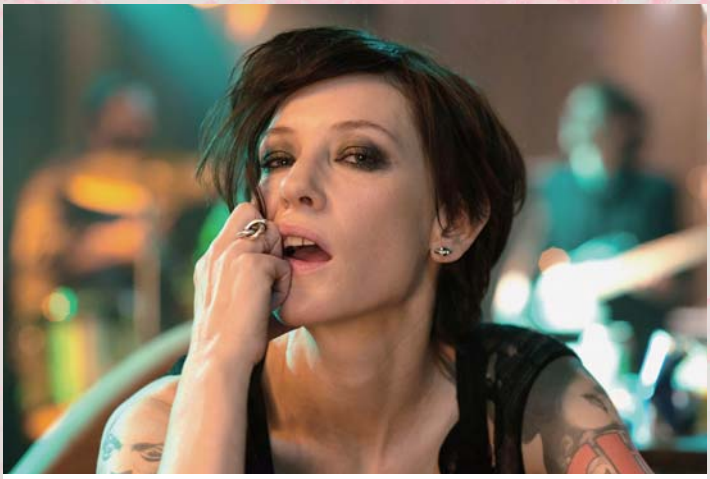
## 長江の眺め

**シュー・シン**／デジタル／156分／2017 **（中国）**
中国の大河、長江を上海から四川省まで2,800キロをたどったドキュメンタリーで、元々はベルリン国際映画祭で銀熊賞を受賞した『長江 愛の詩』（2016）のメイキングとして撮影されていた。川沿いの風景に中国社会の現状が垣間見えるが、虚構と現実の境界を攪乱する特異な仕掛けも隠されている。昨年の山形国際ドキュメンタリー映画祭でも上映。

# エクスペリメンタル・パノラマ

## G マニフェスト
1作品95分

京都2 8/26 11:00



©Julian Rosefeldt and VG Bild-Kunst

### マニフェスト
ユリアン・ローゼフェルト／出演:ケイト・ブランシェット(『ブルージャスミン』『キャロル』)／デジタル／95分／2017(ドイツ)

**ケイト・ブランシェット1人13役。現代に突き刺さる、アーティストたちの宣言。**

マルクスからダダ、未来派からシチュアシオニスト、フルクサスからラース・フォン・トリアーまで……。20世紀を代表するアート宣言(マニフェスト)へのオマージュ。アカデミー賞女優のケイト・ブランシェットが、小学校の先生、パンク・ロッカー、ホームレスの男などに扮し、さまざまなマニフェストの精神を具現化する。20世紀アートを牽引してきた数々の有名フレーズが纏う情熱。それらの言葉は、現在生きる我々にどのように響くのか。

## H マタンギ／マヤ／M.I.A.
1作品95分

名古屋 9/29 19:00

### マタンギ／マヤ／M.I.A.
スティーブ・ラブリッジ／デジタル／95分／2018(スリランカ・イギリス・アメリカ)

**かつて難民だった少女はポップ・イコンとなった。革新的な音楽と時に過激すぎる表現で物議を醸すアーティストM.I.A.を追った、本年ベストの呼び声高い音楽ドキュメンタリー。**

スリランカの内戦を逃れ9歳でイギリスに渡った少女マヤ。ヒップホップやストリート・アート、ロンドンの移民コミュニティに影響された独自の音楽を作るようになった彼女は、やがて世界的に有名なポップ・イコン、M.I.Aとなる。その歯に衣着せぬ政治的物言いと、"バッド・ガール"なキャラクターは、常に批判の的だ。しかしM.I.Aの表現を形作ったのは内戦と、抵抗組織のリーダーである父の存在、そしてイギリスで移民として育った経験なのだった。彼女自身とその友人たちが撮りためた22年間の映像素材を元に制作されたドキュメンタリー。本年のサンダンス映画祭審査員賞受賞作品。

## カニバ
1作品95分

京都2 8/26 19:00
名古屋 9/30 19:00

### カニバ
ヴェレーナ・パラヴェル＋ルーシァン・キャステーヌ＝テイラー／デジタル／95分／2017(アメリカ、日本)

**「パリ人肉事件」の佐川一政と、彼を献身的に介護する謎めいた弟を描いた不穏なポートレート。**

2012年の本フェスティバルで上映され、大きな話題を呼んだ『リヴァイアサン』のコンビが、今回は人間存在の深淵を覗き込む。佐川一政という人物を通して、「カニバリズム」という、人間の受け入れがたい欲望についての考察がなされる。センセーショナリズムを排したカメラが、佐川の日常と、それを献身的に支える弟をクローズアップで追ううちに、やがて衝撃的な物語が浮上する……。昨年のヴェネチア映画祭オリゾンティ部門審査員特別賞受賞作品。

※性的・暴力的表現を含むため、18歳未満の方はご覧になれません。

## J 短編プログラム:「たどり着かない物語」
4作品76分

京都1 8/21 19:00
名古屋 9/30 11:30

**政治的な暗喩、人物探索、虚実のトリック、論理的遊戯。一筋縄ではいかない映像による謎かけ4題。**

### サウンドマンの死
ソラヨス・プラパパン／デジタル／16分／2017(タイ)

ある映画の音響効果担当の二人。いい音を作ろうと、ソーセージ、旗、ラクダなどを使っていろいろな音素材を採集する。しかし、彼らには悩みがある。効果音は、映画を観ている人にとってそれほど重要なものなのだろうか? ユーモラスさの裏に潜むタイの政治状況への含意が、ブラックな味わいを際立たせる作品。

### 分身
ロイ・フィレフォイエ＋ヤン・ディートフォルスト／デジタル／22分／2015(オランダ)

ある白人男性の精巧な人形が作られている。これは一体誰なのか? いくつかの声が、この男について物語る。やがてカメラはパプア・ニューギニアのジャングルの奥地へと進んでいく。文字通りの"人物像"が、重層的に立ち上がり、理解できたと思う間もなくさらに謎が深まっていく、奇妙なポートレート。

### 思い出された映画
イサベル・トッレナエレ／デジタル／18分／2018(ベルギー)

美しい森の中、迷彩服姿でうろつく少年たち。時折銃声が聞こえる。少年たちは、カメラに向かって戦場での経験を興奮気味に語る。ベトナム? イラク? ヨーロッパ戦線? 彼らが語る内容は判然とせずチグハグだ。姿や身振りもどこかおかしい。事実と想像の混同が、不思議な魅力を生む、ひねりの利いたドキュメンタリー。

### 論旨(注釈付き)
ダニエル・コックバーン／デジタル／20分／2017(カナダ)

ナレーションが一つの疑問を呈し、それがまた別の疑問を呼び、それがまた次の疑問を呼ぶ。T.S.エリオット、ホメロス、グルーチョ・マルクス、ジョン・カーペンター、テレンス・デイヴィスらの作品を引用しながら、やがてその問いの主体さえもが問われる事態へと発展していく、巧妙な論理的遊戯。

# K アニメーション特集:「不眠者のための夢の王国」
## 3作品77分

横浜 9/17 11:30
名古屋 9/30 14:00

**植民地を我がものとしたい王様、郊外のショッピング・モールで働く従業員、DJ男とよりを戻したい女。孤独な魂の夢は夜ひらく。期待のアニメーション作家たちによる話題の最新作。**

### 心の重し
ニキ・リンドロース・フォン・バール／デジタル／15分／2017(スウェーデン)
高速道路脇のモールで展開されるダーク・ミュージカル。魚や猿やハダカネズミが、それぞれの職場で退屈と存在の不安を紛らわすために歌って踊る。2017年のアヌシー国際アニメーション映画祭グランプリを始め、28の国際映画祭で受賞した話題作。監督はIFF2015で上映された異様な3Dアニメーション『プール』のニキ・リンドロース・フォン・バール。

### ビニール袋の夜
ガブリエル・アレル／デジタル／18分／2018(フランス)
子供がとにかく欲しいアガタ、39歳。マルセイユでDJをしている元彼とよりを戻そうと会いに行くが、何の異変か、街ではビニール袋が意志を持ち、人々を襲い始める……。前作『ユル・アンド・ザ・スネーク』にて文化庁メディア芸術祭や広島国際アニメーションフェスティバルで受賞したガブリエル・アレルの最新作。

### この素晴らしいケーキ!
エマ・ドゥ・スワーフ+マーク・ジェイムス・ロエルズ／デジタル／44分／2018(ベルギー)
19世紀の末、植民地のコンゴ。不眠に悩まされる王、高級ホテルで奴隷として働くピグミー族の男、探検に出て帰らぬ人となった商人、迷子のポーター、脱走した兵士、5つの物語を描く人形アニメーション。本年のカンヌ監督週間招待作品。

# L インド・エキスペリメンタ・プログラム
## 4作品78分

京都1 8/22 19:00
名古屋 9/30 16:30

**これまで日本でほぼ上映されることのなかったインドの映像アートを集めた貴重なプログラム。**
3時間を超える歌と踊りの長尺映画で有名なインドだが、いわゆるアヴァンギャルド映画やアーティストによるビデオ作品については、日本で殆ど知られていない。南インドで隔年に開催されている映像祭Experimentaのディレクターが選定する、フィルムの物質性(マテリアリティ)や、映像ならではの言語の探求を試みた先鋭的な作品を上映。

キュレーション:シャイ・ヘレディア(Experimenta ディレクター)

### 失われた頭と鳥
ソーラブ・フラ／デジタル／10分／2018
インドの沿岸部を旅して撮りためた写真と、インターネットで拾い集めた素材を元に、現代のメディアスケープを描き出す。2018年のオーバーハウゼン国際短編映画祭審査員特別賞受賞。

### サキソナ
プランティク・バス／デジタル／26分／2016
西ベンガルの南方に、サキソナと地元で呼ばれる山々がある。その近くで発掘された6世紀前後の遺物とその山にまつわる民話が一つに紡がれる。2017年のロッテルダム国際映画祭短編部門タイガー・アワード受賞作品。

### 正午の診療所
プリヤ・セン／デジタル／27分／2014
デリーの再定住地域にある、政府運営の無料診療所でシネマ・ヴェリテ式に撮影されたドキュメンタリー。都市の違法な住人が合法な住人へと生まれ変わるその過程をカメラは切り取る。

### 私はミクロ
シュモナ・ゴエル+シャイ・ヘレディア／35ミリ(デジタル上映)／15分／2015
打ち捨てられたレンズ工場を舞台に、低予算映画制作クルーの思い出が語られる。白黒フィルムで撮影された美しい実験的エッセイ作品。

# M シェリー・シルバー特集 変わるもの、変わらないもの

**共同の記憶や、社会の歴史などのパブリックな物語と、個人のプライベートな物語とが交錯し、せめぎ合う場所に常に視線を投げかけてきたニューヨーク在住の写真家・映像作家、シェリー・シルバーの作品を特集。シルバーは、ベルリン映画祭やロンドン映画祭、ポンピドゥー・センター、ニューヨーク近代美術館での上映など、映画と美術を跨いで活躍する映像アーティストとしては80年代以降の長いキャリアを誇る。**

## M-1 シェリー・シルバー特集1
### 4作品72分

京都2 8/26 13:30
横浜 9/16 19:00
名古屋 9/28 14:00

このフィルム

**移ろいゆく街角の風景と人々の現在を、映像で留めようと試みる。しかしフィルムに定着したと思ったイメージも、完成した瞬間から変わっていく。映画と時間、過去と今、現在と未来について思いを馳せるエッセイ・フィルム集。**

### このフィルム
シェリー・シルバー／音楽:アーノルド・ドレイブラット／16ミリ／7分／2018(アメリカ+ドイツ)
フィルムを敢えて高温多湿の状況に置き、どれだけの時間でどれほど劣化するかを検証するプロジェクトのために作られた作品。何気なく撮影されたようかに見える風景が、撮影された瞬間から2度と手にするこのできない、かけがえのないものになっていく。

### 振り向く
シェリー・シルバー／16ミリ／4分／2018(アメリカ+ドイツ)
ゴダール『勝手にしやがれ』ラスト・シーンのジーン・セバーグのアクションを、23人の女性が、2017年のベルリンの街角で、逆転して再演する。

### チャイナタウンについての5つのレッスンと9つの質問
シェリー・シルバー／デジタル／10分／2009(アメリカ)
作者の住む近所にあるチャイナタウン。殆ど気を留めることのなかった、その毎日通る街角の背景にある、移民史、レイシズム、アメリカ史、中国史、排除の歴史、進行中のジェントリフィケーションについての物語が3つの言語で語られる。

### ストレンジ・ニュー・ビューティー
シェリー・シルバー／デジタル／51分／2017(アメリカ)
人影のない、シリコン・バレーの大邸宅。煌めくような美しさと見せかけの静けさが、かえって観るものにその背後に潜む暴力を想像させる。

## M-2 シェリー・シルバー特集2
### 2作品63分(横浜会場では3作品80分)

京都1 8/22 16:30
横浜 9/17 16:30
名古屋 9/28 16:30

家を出ることについての37話

**ダダイストの男爵夫人、母と自分との関係を語る日本人女性たち。女性たちの物語は常に歴史の後景に置かれて、忘却されるがままにされてきた。彼女たちの声に光が当たることで生まれる多層的な歴史。**
**横浜会場では、横浜美術館所蔵の「ミート・ザ・ピープル」を特別上映。**

### ランプたち
シェリー・シルバー／デジタル／11分／2017(アメリカ)
エルサ・フォン・フライターク・ローリングホーフェン男爵夫人は、知られざるダダの活動家だ。アーティスト、詩人、逃亡者で扇動者の彼女は、歴史と社会のはみ出ものだった。本作は夫人が愛人とボンベイのエロティックなオブジェに満ちた秘密の部屋「イル・ガビネット・セグレート」に入り込んだ時の様子を描く。

### ミート・ザ・ピープル ＊横浜会場のみの上映
シェリー・シルバー／ビデオ／17分／1986
●横浜美術館所蔵作品

### 家を出ることについての37話
シェリー・シルバー／デジタル／52分／1996(アメリカ)
日本の15歳から83歳の祖母・母・娘たちが、家族との関係、人生における選択、社会と自分の関係について語る。子供から大人へと変わりゆく私的な旅路——家を出るという体験が、親密なインタビューの元に明らかにされていく。1997年のイメージフォーラム・フェスティバルで上映されたエッセイ・フィルム。撮影から20年、日本の母と娘たちはどのように変わったのか、あるいは変わっていないのか。

## N かわなかのぶひろ特集『これまでの経緯』と『あれから、また、五年』
2作品85分

京都1 8/24 16:30
名古屋 9/28 19:00

『これまでの経緯』

かわなかのぶひろは近年、パーソナルな視点から自身の日常を撮り続けた膨大なフッテージを駆使して作品を構成してきた。今回のプログラムでは、自身が作家、オルガナイザーとして勃興期から関わってきた日本の実験映画、個人映画の歩みを振り返る。
「なにげない日常から映像のことばを発見する…。自分が辿ってきた映像の道を若い世代に伝える試み」(かわなかのぶひろ)

『これまでの経緯』 かわなかのぶひろ／デジタル／60分／2018(日本)
『あれから、また、五年』 かわなかのぶひろ／デジタル／25分／2018(日本)

# フィルムメーカーズ・イン・フォーカス

## P 追悼・山崎博

山崎博(1946-2017)は、長時間露光を駆使し、時間と光の関係を捉えるコンセプチュアルな写真作品で知られるが、写真作品と並行して多くの映像作品も手がけている。ランダムに露出を変えて風景をコマ撮りする処女作『FIX』、多重露光で太陽を捉えた『観測概念』、コマ撮りで太陽の動きを追う『HELIOGRAPHY』など、山崎が手がけた映像作品は写真作品と同様、繊細な技術を駆使しながらも大胆な映像表現で観客を魅了する。
また、P-2プログラムでは、10代からの友人であり、山崎博を映像制作へと導いた萩原朔美が制作した新作エッセイ映画『山崎博の海』も併せて上映する。

### P-1 山崎博作品集1
11作品69分

京都1 8/21 13:30
名古屋 9/27 14:00

観測概念

| | | | |
|---|---|---|---|
| FIX | 山崎博／16ミリ／5分／1972 | 観測概念 | 山崎博／16ミリ／10分／1975 |
| FIXED-NIGHT | 山崎博／16ミリ／6分／1972 | epilogue | 山崎博／16ミリ／1分／1976 |
| FIXED STAR | 山崎博／16ミリ／7分／1973 | MOTION | 山崎博／16ミリ／10分／1980 |
| A STORY | 山崎博／16ミリ／6分／1973 | GEOGRAPHY | 山崎博／16ミリ／7分／1981 |
| 60 | 山崎博／16ミリ／1分／1973 | [kei]・1991 | 山崎博／ビデオ／13分／1991 |
| NOON | 山崎博／16ミリ／3分／1976 | | |

### P-2 山崎博作品集2+山崎博の海
8作品67分

京都1 8/21 16:30
名古屋 9/27 16:30

HELIOGRAPHY

| | | | |
|---|---|---|---|
| VISION TAKE 1 | 山崎博／8ミリ／3分／1973 | VISION TAKE 3 | 山崎博／16ミリ／3分／1978 |
| HELIOGRAPHY | 山崎博／16ミリ／6分／1979 | WALKING WORKS | 山崎博／16ミリ／5分／1983 |
| 3・・・ | 山崎博／16ミリ／5分／1984 | WINDS | 山崎博／16ミリ／6分／1985 |
| 櫻 | 山崎博／ビデオ／19分／1989 | 山崎博の海 | 萩原朔美／デジタル／20分／2018 |

## Q クルト・クレン、フレームの王
16作品61分

京都2 8/26 16:15
名古屋 9/27 19:00

6/64 ママとパパ

ニューヨーク近代美術館での上映やオーストリア・フィルム博物館の修復プロジェクトなど、近年再評価が高まる“構造映画”のマスター、クルト・クレンの特集プログラム。
クルト・クレン(1928−1998)は、あらかじめ設定したチャートに基づいて一コマずつ撮影することで、既存の“映画”についての概念を解体した。オットー・ミュールやギュンター・ブルスらウィーン・アクショニズムのパフォーマンスを記録した一連の作品群がよく知られているクレンだが、その綿密に計算されたフレームの連なりが与えるパンクな精神とリリカルな詩情に魅入られる。クレン没後20年にあたって、オーストリア・フィルム博物館が修復・デジタル化したリマスター版を上映する。
キュレーション:ブリギッタ・ブルガー=ウツァー(ディレクター、シックスパックフィルム)

※性的・暴力的表現を含むため、18歳未満の方はご覧になれません。

| | | | |
|---|---|---|---|
| 1/57 人工音の実験 | クルト・クレン／16ミリ／2分／1957 | 2/60 ゾンディ・テストの48の顔 | クルト・クレン／16ミリ／4分／1960 |
| 3/60 秋の木々 | クルト・クレン／16ミリ／5分／1960 | 6/64 ママとパパ | クルト・クレン／16ミリ／4分／1964 |
| 8/64 アナーアクション・ブルス | クルト・クレン／16ミリ／3分／1964 | 9/64 オー・クリスマス・ツリー | クルト・クレン／16ミリ／3分／1964 |
| 11/65 ヘルガ・フィリップの絵 | クルト・クレン／16ミリ／2分／1965 | 15/67 テレビ | クルト・クレン／16ミリ／4分／1967 |
| 31/75 避難所 | クルト・クレン／16ミリ／8分／1975 | 32/76 W+Bへ | クルト・クレン／16ミリ／7分／1976 |
| 33/77 ドナウではない | クルト・クレン／16ミリ／8分／1977 | 37/78 再び木 | クルト・クレン／16ミリ／3分／1978 |
| 42/83 ノー・フィルム | クルト・クレン／16ミリ／1分／1983 | 44/85 Foot'-age shoot'out | クルト・クレン／16ミリ／3分／1985 |
| 46/90 FALTER 2 | クルト・クレン／35ミリ／1分／1990 | 48/95 映画の千年 | クルト・クレン／35ミリ／3分／1995 |

全てデジタル版上映／オーストリア

ブリギッタ・ブルガー=ウツァー　ティーチ・イン　8/26 16:15の回上映後

### インスタレーション

**灯籠譚** 伊藤隆介／インスタレーション／2018(日本)
精巧なミニチュアと映像装置を用いて映像メディアの特性をユーモラスに示す伊藤隆介のビデオ・インスタレーション、最新作を発表。廃棄されたスライド投影機(幻灯機)をモチーフに、人類と映像(イメージ)の関係を批評的に構成する。
※各会場での展示期間はウェブサイトをご確認ください

## MEEC

京都1 8/24 13:30

### ミート・ザ・キュレーターズ
ブリギッタ・ブルガー=ウツァー(ディレクター、シックスパックフィルム)
アヴァンギャルド映画の聖地の一つであるウィーンにおいて1990年に設立された非営利配給組織シックスパックフィルム。1500本を超えるオーストリア映像作品の配給・販売・プロモーションを行う本組織の創立者でもあるブリギッタ・ブルガー=ウツァーが、シックスパックフィルムの活動を踏まえてアヴァンギャルド映画の上映についての現状や、今後の展望についてレクチャーを行う。
※本フェスティバルの半券またはチケットを提示の方は無料

# T 関西八粍薄板界の痕跡 ～ヴォワイアンの作家たち～

**10作品85分**

京都1 8/24 19:00

「ヴォワイアン・シネマテーク(VC)とは、映像作家平田正孝、小池照男、瀬々敬久らが結成した個人映画制作上映集団。京阪神を中心に1983年から1996年までの13年間、約70回の個展・企画展を主催するなど、80年代から90年代に於ける関西の実験映画・個人映画シーンの不可欠な存在として活動した。本プログラムは、VC活動期間中の参画スタッフが生み出した約200本の映像作品の中から、8ミリフィルムフォーマットに限定した作家自薦10作品をセレクトした、IFFのための特別編である」（櫻井篤史）
上映終了後、上映作家によるトークを予定。

キュレーション:櫻井篤史（ルーメン・ギャラリー）

| | |
|---|---|
| **あと三日** | 櫻井篤史／8ミリ／12分／1986（日本） |
| **ON A DUNE** | 西岡雪菜／8ミリ／3分／1988（日本） |
| **黄泉の真珠** | 西村美須寿／8ミリ／5分／1988（日本） |
| **NIGHT WALKER** | 吉本陽一／8ミリ／12分／1990（日本） |
| **時の体温** | 山元るりこ／8ミリ／5分／1991（日本） |
| **はづかしい夜 なつかしい朝** | 青井克己／8ミリ／18分／1986（日本） |
| **Minimal Garden** | 平田正孝／8ミリ／3分／1988（日本） |
| **W** | 向平真／8ミリ／8分／1989（日本） |
| **花が咲いたら** | 柳瀬昇／8ミリ／6分／1990（日本） |
| **生態系 9 ～流砂蝕** | 小池照男／8ミリ／13分／1993（日本） |

あと三日

# V 関西エクスペリメンタル新作展

**歴史的な重要作を上映するTプロ「関西八粍薄板界の痕跡」に呼応して、関西のエクスペリメンタル映像の現況を伝える。**
**関西在住または出身作家による、2017年以降制作の新作セレクション。**

## V-1 関西エクスペリメンタル新作展1

**2作品83分**

京都1 8/23 16:30

たおやかに死んでいる

### あなたの人生の到着
野村建太／デジタル／7分／2018（日本）
8ミリフィルム数コマ単位で次々と映し出される膨大な量の日常風景、その“デジタル・シネカリグラフィ”が、あるひと時の記録にメッセージを付与する。

### たおやかに死んでいる
米倉伸／デジタル／76分／2017（日本）
伊藤キムと麿赤兒という身体表現の巨頭をキャストに迎え、20代の作者が人間存在の輪郭を炙り出す、ドキュメンタリーとフィクションのフュージョン。

## V-2 関西エクスペリメンタル新作展2

**2作品79分**

京都1 8/23 19:00

Hello friends -schizophrenic view-

### 翳浪
片岡拓海／デジタル／6分/2018（日本）
書道の筆の運びに感じる、フェティッシュな悦び。漢字文字が分散・集合を繰り返すダンサブルなアニメーション。

### 生態系 -26- 微振砂
小池照男／デジタル／14分／2018（日本）
1981年以来、抽象映画の可能性を拡張する「生態系」シリーズ新作。フィルムからデジタル制作にシフトして、その唯一無二な存在感が一層際立っている。

### 彼岸
東遼太／デジタル／12分／2017（日本）
神祭具や繋いだ手などの対象物へ繰り返される激しいズーム運動。京都の映像教育を拓いた松本俊夫の傑作群を彷彿とさせ、かつ若い野心に満ちた実験映画。

### Hello friends -schizophrenic view-
相内啓司／デジタル／8分／2017（日本）
2011年に急逝した実験アニメの伝説、相原信洋へのレクイエム。旧友でもある作者が、相原の独特な描線を再現し、自身と妄想的な超絶コラボレーションを試みる!

### マッチ箱劇場～箱宇宙～
見市敏之／デジタル／18分/2017（日本）
鄙びたビルの小さなバーで繰り広げられる神秘幻想世界。砂絵や人形操演など多彩な映像と演劇的な演出が溶け合っていく。

### wind chime
緑茶麻悠／デジタル／18分（日本）
役者の妹の台詞合わせに付きあう姉。何気ない会話と芝居は次第に境が見えなくなり…。言葉という装飾に隠される本音について考察するショート・ドラマ。

### 月の音
山中千尋／デジタル／3分／2018（日本）
IFF17ノミネート『生まれたときから木に挟まれて動けない人』の作者による新作。独特の感性によって様々な手法が組み合わせられた瑞々しいアニメーション。

# W 横浜特別講座

**上映＋トーク**

横浜 9/17 14:00

横浜美術館の豊富なエクスペリメンタル映像コレクションを中心に、毎年異なるナビゲーターが作品を選定し、解説付きで上映する横浜特別講座。本年の上映作品とナビゲーターは、新設された「東アジア・エクスペリメンタル・コンペティション」の受賞結果を踏まえ、本フェスティバルの東京開催後にウェブサイトで発表。最新の映像アートとその源流を知り、現代における古典作品の意味を発見する、映像アートの入門講座。

# X 愛知芸術術文化センター・愛知県美術館オリジナル映像作品 エクスペリメンタル傑作選

**4作品68分**

名古屋 9/26 19:00

愛知芸術文化センター・愛知県美術館がプロデュースする、「身体」をテーマに制作した実験的な映像作品。1992年の開館以来、一年に一本のペースで継続的に作品を制作しており、公立の文化施設では日本国内に類例のない企画として、その試みのユニークさと作品の質の高さから全国的にも注目を集めている。これまでの26作品の中から国際的に話題となった、日本実験映画史にとってエポックメイキングな4作品をセレクトした傑作選。
上映終了後、越後谷卓司（愛知県美術館主任学芸員、オリジナル映像作品エグゼクティヴ・プロデューサー）によるトークあり。

| | |
|---|---|
| **フーガの技法** | 石田尚志／16ミリ／20分／2001（日本） |
| **影の子供** | 辻直之／16ミリ／18分／2006（日本） |
| **HAND SOAP** | 大山慶／35ミリ／10分／2008（日本） |
| **Generator** | 牧野貴／デジタル／20分／2011（日本） |

●すべて愛知県美術館所蔵作品

HAND SOAP

イメージフォーラム・フェスティバルは、映像の最新表現を通して、これからの芸術表現、メディア環境を含めた社会のあり方について考える場を提供する映像祭です。本フェスティバルでは、“映像”を映画館で通常かかるような映画、美術館で展示される映像アート、または個人の日記的表現などを含めて横断的に捉えます。国内外の優れた最新作の上映、映像作家やキュレーターとの対話やレクチャーによって、多くの人に映像とより近く触れる機会を創出するのが本フェスティバルの目的です。
本年のテーマは「ヴォイセズ」。異なる状況に生きる多様な個人の“声”と、その存在の証としての芸術表現に注目します。

## 京都1

京都芸術センター（京都1）

| | 8/21 [tue] | 8/22 [wed] | 8/23 [thu] | 8/24 [fri] |
|---|---|---|---|---|
| 13:30 | P-1 山崎博 1 11作品69分 | D 東アジアコンペティション 4 1作品153分 | E 東アジアコンペティション 5 1作品156分 | MEEC ※半券提示で無料 |
| 16:30 | P-2 山崎博 2 8作品67分 | M-2 シルバー特集 2 2作品63分 | V-1 京都特別1 2作品83分 | N かわなかのぶひろ 2作品85分 |
| 19:00 | J 短編プログラム たどり着かない物語 4作品76分 | L インド実験プログラム 4作品78分 | V-2 京都特別2 2作品79分 | T ヴォワイアン 10作品85分 |

## 京都2

ルーメン・ギャラリー（京都2）

| | 8/25 [sat] | 8/26 [sun] |
|---|---|---|
| 11:00 | | G マニフェスト 1作品95分 |
| 13:30 | A 東アジアコンペティション 1 8作品97分 | M-1 シルバー特集 1 4作品72分 |
| 16:15 | B 東アジアコンペティション 2 8作品97分 | Q クルト・クレン特集 16作品61分 |
| 19:00 | C 東アジアコンペティション 3 5作品95分 | I カニバ 1作品95分 |

## 横浜

横浜美術館（横浜）

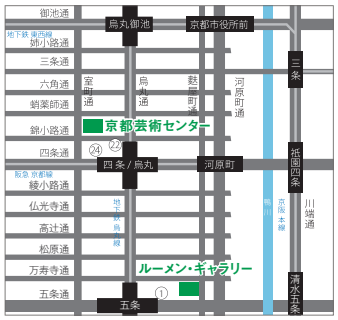
| | 9/15 [sat] | 9/16 [sun] | 9/17 [mon] |
|---|---|---|---|
| 11:30 | | A 東アジアコンペティション 1 8作品97分 | K アニメーション特集 3作品77分 |
| 14:00 | E 東アジアコンペティション 5 1作品156分 | B 東アジアコンペティション 2 8作品97分 | W 横浜特別講座 |
| 16:30 | 18:00 D 東アジアコンペティション 4 1作品153分 | C 東アジアコンペティション 3 5作品95分 | M-2 シルバー特集 2 3作品80分 |
| 19:00 | | M-1 シルバー特集 1 4作品72分 | |

## 名古屋

愛知芸術文化センター（名古屋）

| | 9/26 [wed] | 9/27 [thu] | 9/28 [fri] | 9/29 [sat] | 9/30 [sun] |
|---|---|---|---|---|---|
| 11:30 | | | | A 東アジアコンペティション 1 8作品97分 | J 短編プログラム たどり着かない物語 4作品76分 |
| 14:00 | 13:00 E 東アジアコンペティション 5 1作品156分 | P-1 山崎博 1 11作品69分 | M-1 シルバー特集 1 4作品72分 | B 東アジアコンペティション 2 8作品97分 | K アニメーション特集 3作品77分 |
| 16:30 | 16:00 D 東アジアコンペティション 4 1作品153分 | P-2 山崎博 2 8作品67分 | M-2 シルバー特集 2 2作品63分 | C 東アジアコンペティション 3 5作品95分 | L インド実験プログラム 4作品78分 |
| 19:00 | X 名古屋特別 4作品68分 | Q クルト・クレン特集 16作品61分 | N かわなかのぶひろ 2作品85分 | H マタンギ 1作品95分 | I カニバ 1作品95分 |

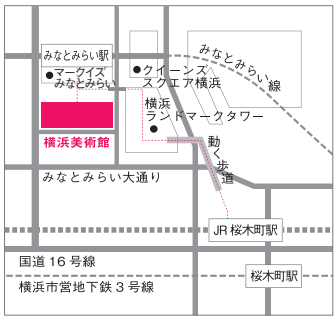
京都 **京都芸術センター フリースペース ルーメン・ギャラリー**




### 京都芸術センター
〒604-8156
京都市中京区室町通蛸薬師下る山伏山町546-2
TEL:075-213-1000
地下鉄烏丸線「四条駅」、阪急京都線「烏丸駅」22・24番出口より徒歩5分。
駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。

### ルーメン・ギャラリー
〒600-8059
京都市下京区麩屋町通五条上る下鱗形町543
有隣文化会館2F
京都市営地下鉄「五条駅」1番出口より東へ徒歩7分
京都市バス「河原町五条」停留所から西へ徒歩2分

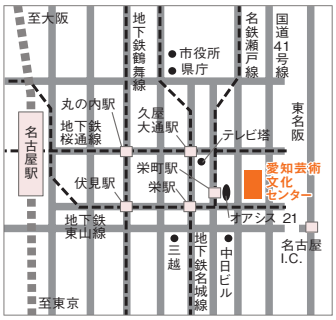
横浜 **横浜美術館 レクチャーホール**




### 横浜美術館
〒220-0012
神奈川県横浜市西区みなとみらい3-4-1
TEL:045-221-0300

1 みなとみらい線（東急東横線直通）
みなとみらい駅下車、3番出口より徒歩3分
2 JR・市営地下鉄線 桜木町駅下車
［動く歩道］を利用、徒歩10分

名古屋 **愛知芸術文化センター12階 アートスペースA,EF**




### 愛知芸術文化センター
〒461-8525
愛知県名古屋市東区東桜1-13-2
TEL:052-971-5511（代）
地下鉄東山線・名城線栄駅、名鉄瀬戸線栄町駅下車、オアシス21連絡通路利用徒歩3分

**入場料（消費税込）**

■会期中販売
【1回券】一般1,200円/学生800円
イメージフォーラム会員1,000円
【4回券】一般3,200円/学生2,000円
【フリーパス】一般6,000円/学生4,000円

■チケットぴあ、ローソンチケットなどで特別鑑賞券を発売中!
特別鑑賞【1回券】1,000円
【4回券】3,200円
【フリーパス】6,000円
チケットぴあ TEL:0570-02-9999 Pコード:467-653
ローソンチケット TEL:0570-000-777
Lコード:京都52149、横浜32670、名古屋42018
※自由席・各回入替制
※4回券、フリーパス券はお一人様用です。複数名ではお使いになれません。

■チケットは、京都、横浜、名古屋の3会場共通でご使用になれます。
■各プログラムは上映開始15分前に開場します。
■各会場で一部上映のない作品があります。ご注意ください。
■若干の上映作品の変更、上映順、上映フォーマットの変更が生じる場合もあります。予めご了承ください。

**お問い合わせ:**
**イメージフォーラム・フェスティバル2018事務局**
TEL. 03-5766-0116
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷2-10-2

IMAGE FORUM　KYOTO ART CENTER　横浜美術館　aomoa　AICHI ARTS CENTER　オーストリア文化フォーラム　渋谷 東急REIホテル　Lumen gallery